

活動情報 No. 9



問い合わせ TEL 0942-47-5101
 FAX 0942-47-5105
 ホームページ
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/soshiki/4705101/html>
 野菜花き課 花き係

シンテッポウユリの安定出荷を目指す

— 課題克服と品質向上へ向けた取り組み —

久留米普及指導センターは、夏季の栽培品目として、お盆に需要があるシンテッポウユリの作付けを推進しており、JAくるめ管内では、野菜や果樹農家が複合品目として導入しています。

昨年度は、生育初期のかん水不足や梅雨時期の葉枯病発生により出荷量が減少したことから、今年度は、JA担当者との巡回時にかん水状況を確認し、葉枯病対策に関するリーフレット作成・配布による事前の注意喚起を徹底しました。

7月18日に開催された現地検討会では葉枯れ病が発生しているほ場は確認されず、お盆出荷に向けて順調に蕾が生育していることを確認しました。同日開催された出荷目合わせ会では、出荷基準及び選別基準について確認を行いました。生産者からは今後の管理方法や収穫時の注意点に関する質問が挙がり、お互いの管理方法について熱心な情報交換が行われました。

久留米普及指導センターは、今後も現地巡回や講習会の開催等に取り組み、シンテッポウユリの作付けを支援していきます。



ほ場巡回の様子

至急確認

梅雨時期における葉枯病の防除について

令和7年8月17日
 JAくるめ・久留米普及指導センター

すでに葉枯病と疑われる症状が発生しているため、緊急、下記の防除方法についてご確認ください。

シンテッポウユリの葉枯病とは

葉枯病は、降雨が続く梅雨期などの高温多湿に発生する葉部病害です。
 ・病斑部の生育速度は20℃前後で、分生子の形成温度は18℃前後です。
 ・風雨により、被害植物などの上にも形成された分生子が飛散し、ユリの葉や茎に感染して発病させます。その発病した病斑より新たな分生子が形成され、次々に伝染し、蔓延します。

(写真提供:JAくらめ 農芸部)

作業時期と農薬の散布の時期について

【作業時期(標準15℃以上)】以降のシンテッポウユリに適用できる防除剤の一覧
 令和7年8月11日 農業部農研

防除剤コード	農薬名	有効成分	薬剤時期	散布方法
1010	ゼッター水剤	炭酸カルシウム	1000倍	葉面
9	アズミックスアズル	炭酸カルシウム	2000倍	葉面
9	アズミックスアズル	炭酸カルシウム	2000倍	葉面
101	ファンジスタ観葉植物用	炭酸カルシウム	2000倍	葉面
109	ザリヤキサンシキ水剤	炭酸カルシウム	2000倍	葉面

【防除のポイント】

- ・葉枯病は多量に薬剤散布が効果的ですが、同一薬剤を連続使用せず、異なる薬剤をローテーションで散布しましょう。
- ・ユリの葉は、薬剤をほじきやすいので、農薬散布は避けましょう。
- ・発病した葉は第2次感染源となるので、緊急に取り除き処分してください。

※ 梅雨時期は葉枯病とのたがいがいります。降雨前、降雨後には薬剤による防除を徹底しましょう。

葉枯病対策のリーフレット